

除夜の鐘撞 轉法輪寺 通関

轉法輪寺の梵鐘は樓門の階上に吊されており、大変珍しい形狀をしております。その梵鐘を大晦日に限って、皆様方にも特別に撞いて頂くことにしております。

一年の締めくくりとして春百八の煩惱を除滅する意味で、今年一年の懺悔と新年への期待を込めて、精一杯の思いで撞いて下さい。

富山の梵鐘は宝暦14年(1764)に作られたもので、高さ2m50cm、横幅は1m30cmの大梵鐘で、鐘楼門として階上に吊されたものとしては最大級の梵鐘であります。

皆様も是非、鯨が大海を揺る
がすが如き銘鐘を響かせて
清らかな新年をお迎え下
さい。

※尚、壹百八番まで
の方には番号入り
のお札をお受けい
たします。

鐘樓門の梵鐘の 特別な鐘の撞き方

當山の梵鐘は、樓門と鐘樓が
一つになった鐘樓門という建物
の2階部分に吊されていること
から、少し特別な撞き方をする。

- ①履き物を脱いで頂き、2階へ上がって頂きます。
 - ②梵鐘の前、撞木の側には座布団がひかれており、そこに座って頂きます。(低めの椅子も用意できます。)
 - ③座ったままで、まずは合掌をして頂き、浄土宗のご本尊阿弥陀様へのお参りとして「南無阿弥陀仏」とお称え頂きましてから、心静かに鐘を撞いて頂きます。
※足の不自由な方は一階にて立ったままで撞いて頂けます。
 - ④撞き終わったら再び合掌をして祈念した後、梵鐘を撞いたお印としてのお札をもらって頂き、階下へ退場して下さい。
 - ⑤最後に本堂に参って、本尊阿弥陀大仏様の前にて新年のお参りをなさって下さい。

とき

2025年12月31日
23:45頃より

僧侶による読経並びに撞き初めの後、一般的の参拝者にも鐘楼門の階上に上がって頂き、撞いて頂きます。（足の不自由な方は一階通路からも撞いて頂けます。）

※人数の制限は設けませんが、お1人様1回ずつに限らせて頂きます。

※極寒の時節であり安全の問題上、23時半迄はならばぬで下さり。

それでは境内にも入
れません。
※午前1時過ぎに
は終了します。

۲۲۳



※当りは駐車ス
ペースがござりま
せん。自家用車で
のご来寺はご遠慮
下さい。

淨土宗 獅子吼山 關通 轉法輪寺
京都市右京区龍安寺山田町2 電話 075 (464) 2668